

SECURITY TREND NEWS

Vol.03
2026

サイバー
セキュリティ月間
2026

2/1～3/18



Hot Topics 2026 Mar.

- 2026年版 | 情報セキュリティ10大脅威
- 「国税庁」をかたるフィッシング詐欺 ～確定申告シーズンに急増～
- 中小企業が気づかない“セキュリティ格差”

01 情報セキュリティ10大脅威

順位	「組織」向け脅威	初選出年	10大脅威での取り扱い (2016年以降)
1	ランサム攻撃による被害	2016年	11年連続11回目
2	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2019年	8年連続8回目
3	AIの利用をめぐるサイバーリスク	2026年	初選出
4	システムの脆弱性を悪用した攻撃	2016年	6年連続9回目
5	機密情報を狙った標的型攻撃	2016年	11年連続11回目
6	地政学的リスクに起因するサイバー攻撃 (情報戦を含む)	2025年	2年連続2回目
7	内部不正による情報漏えい等	2016年	11年連続11回目
8	リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃	2021年	6年連続6回目
9	DDoS攻撃 (分散型サービス妨害攻撃)	2016年	2年連続7回目
10	ビジネスメール詐欺	2018年	9年連続9回目

(出典)独立行政法人情報処理推進機構「情報セキュリティ10大脅威 2026」

1位

ランサム攻撃による被害 (1位・11年連続選出)

- ・ 事業停止や情報漏えいなど、経営への影響が極めて大きい
- ・ 攻撃手法の高度化により、業種・規模を問わず被害が拡大
- ・ 被害が連鎖し、取引先や社会全体へ波及するおそれ

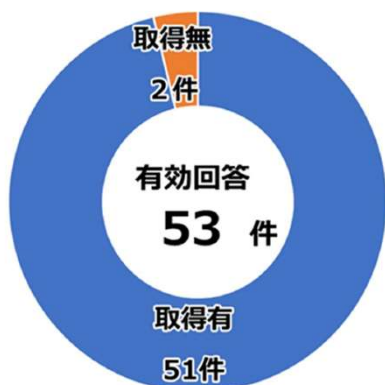
3位

AIの利用をめぐるサイバーリスク (3位・初選出)

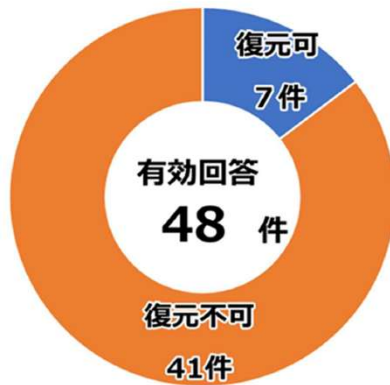
- ・ 生成AIへの入力情報から、情報漏えいのリスクが高まっている
- ・ 生成内容を検証せず業務利用することで、誤判断が生じるおそれ
- ・ 攻撃者によるAI活用で、攻撃の効率化・巧妙化が進んでいる

「バックアップはあるのに復元できない」ことも…

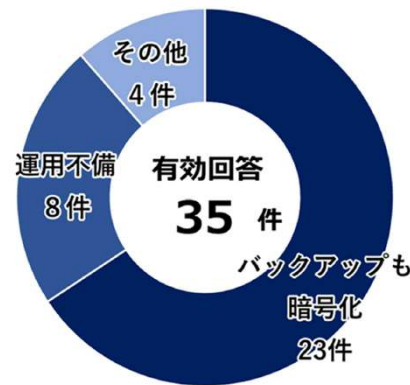
バックアップの有無



バックアップからの復元結果



復元できなかった理由



Topic

02

「国税庁」をかたる フィッシング詐欺に注意

確定申告シーズン
に急増!

確定申告の時期には、「国税庁」や「e-Tax」を装ったフィッシング詐欺が増加します。2025年の申告期間には、国税庁をかたる偽サイトが1月の約10倍に急増しました

「未払い税金がある」と不安をあおる



未払い税金！
至急更新！

「還付金が受け取れる」と入力を促す



口座情報を入力して！

偽e-Taxに誘導して
情報を盗む



偽サイトに誘導！

- 国税庁はSMSでURLを送らない(e-Taxの案内はメッセージボックス通知のみ)
- 「差押」「未払い」を強調する連絡は、ほぼ偽装
- 不審なメールやSMSのURLは絶対にクリックしない

Topic

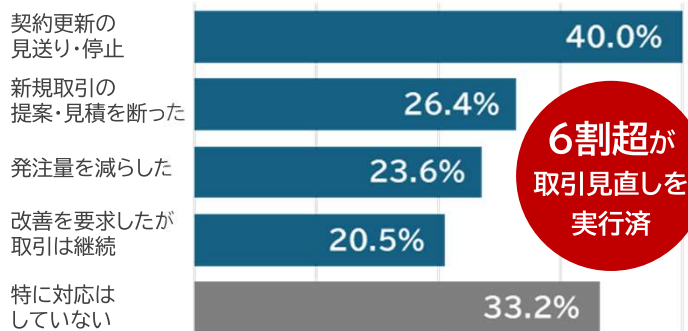
03

中小企業が気づかない セキュリティ格差

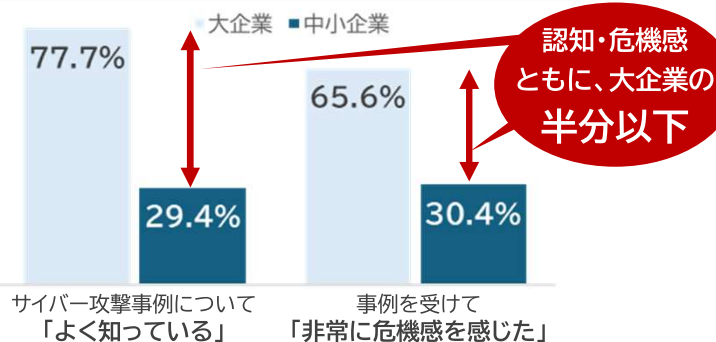


442社を対象に「サプライチェーンセキュリティに関する実態調査」を実施しました。相次ぐサイバー攻撃を背景に、**大企業の6割超がセキュリティ不備で取引先を見直しています**

セキュリティ不備を理由とした大企業の取引先への対応実態



サイバー攻撃への「認知度」と「危機感」の比較



(出典)株式会社ミツモア「サプライチェーンセキュリティに関する実態調査」を元に、キャノンマーケティングジャパンで作成

2026年度末に制度開始^{予定}

経済産業省の「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」

背景

- 対策の甘い中小企業を起点に、サプライチェーンを通じたインシデントが頻発
- 企業間取引で、セキュリティ水準を客観的に示す必要性が高まっている

制度の
ポイント

- 企業のセキュリティ対策状況を、★3～★5の段階で可視化
- “共通のものさし”により、現状把握と次取るべき対策が明確に

不正な暗号化による**業務停止時間をゼロにする**

ランサムウェア対策ソフト 「AppCheck」解説セミナー

参加無料
事前登録制

セミナー概要

近年深刻化するランサムウェア攻撃は、業務停止や取引先への影響など重大なリスクをもたらします。本セミナーでは、不正な暗号化を検知・遮断する対策ソフト「AppCheck」の特長や、アンチウイルスとの違いを動画で分かりやすく解説します。ランサムウェア対策の見直し・強化を検討中のお客さまにおすすめの内容です。

日時

2026年

4月20日(月)

14:00-15:00

●定員:300名

●対象:経営層・ご担当者様

●申込締切:2026年4月15日(水)

■インターネット環境があれば自席で受講いただけます

<講師>

キヤノンITソリューションズ株式会社

ITマネージドサービス事業部 ITサービス事業企画部

輿水 幸子(こしみず さちこ)

■セミナー申込サイト

キヤノンMJ セミナー

検索



※お申込みの際に

【会社コード】の入力が必要です。

【会社コード】G03867

WEBサイト:<https://canon.jp/biz/event>